



TITLE:

東亞天文協會觀測部月報

AUTHOR(S):

CITATION:

東亞天文協會觀測部月報. 天界 1943, 23(264): 204-207

ISSUE DATE:

1943-06-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168603>

RIGHT:

観測部月報

Monthly Report, Observing Section, O. A. A.

★

東亞天文協會

★流星課 METEORS (137) 課長 小横孝二郎 (Koziro Komaki, President)

六月に出現する流星は少い。主なる流星群は下表の通りである。 June Meteors:

期 間	輻 射 点		附 近 の 星	性 状
	α	δ		
11~13	311°	+62°	セフェウス η	
下 旬	24	+43	アンドロメダ α	速, 痕
月 末	213	+53	おほくま η	キンネケ, 微光
〃	228	+58	りょう ι	〃, 〃
〃	246	+64		
	x	x	x	x

其後受理した観測報告は、北村敏資(三月)、山口知弘(三月)両氏のもの以外に、若干の火球があつた丈である。(1943, VI, 18)

〔附記〕拙著“流星の研究”の正誤表を希望される方には、無代で進呈する。4錢切手封入申込まれたい。

★彗 星 課 昨1942年には合計8個の彗星が発見されたい。この中の6個は天界260, 第67頁に報告した通り。その後、I. A. U. の回報933號(本年一月5日附)によると、キルソン山の250 糎鏡で昨年十一月5日に撮つた乾板から Dr. Baade が第I ヲルフ星の像(19.3等級!)を発見した由である。次に昨十一月6日に Oterma 女史の発見した Stephan-Oterma 星は日本では1942e 又は(毎年観測される第一シワスマン・ワハマン星に発見符號をつけぬ時は)1942d と記してゐるが、I. A. U. では1942f としてゐるから、昨十一月6日以前に海外で発見されて、我々に通知されなかつた星が一個はあるらしい。合計8個。〔なほ Popular Astronomy 誌昨年五月號より I. A. U. 回報932に轉載されてゐる1932b 星の観測位置は、同じ頃の廣瀬秀雄氏の観測(東京天文臺回報212)等と大分違つてゐるから、もし別の星とすると9個になるわけだが。〕今年になつて既に二個の新彗星が発見されてゐる。Arend 星と Oterma 星とである。詳細は次回にゆづる。(18. 5. 5—進)

★太陽課 SUN

近いうちに、太陽観測者のみの、特別な協議會を田上で開きたいと考へてゐる。黄道光や流星、變星などの観測者の會合は以前に幾回も開いたことがあるけれど、太陽観測者の會合は未だ一回も開いたことが無かつた。しかし、近頃は、本課員中にも、観測の技術や方法などについて、もつと相互の連絡を必要とする件が、多くあるやうに思はれるし、相對數の計算についても、誤解を無く、無駄を省き、いろんな意見の交換、器械の取り扱ひ方、伊達氏等による寫眞撮影法の研究等の問題もあるし、各自の観測者が毎日の天氣模様と闘つてゐられる體驗の發表なども必ず益する所が多いと思ふ。——観測者たちは、東にも西にも、可なり離れてゐる人があるけれど、何とかして會合して、相互に親しく語り合ふ價值は大きいと思ふ。恰も、今は太陽が黒點活動の極小期を過ぎて近く第31期の大活動を開始せんとしてゐる時期である。之れに對處するため、観測者は充分に準備しなければならない。日蝕が起ると、戦時下の、可なり旅行難の時であつても遠方まで観測に出かける人が多い。しかし日蝕だけが天文ではない。太陽のみに注意力を集中しても、日常の観測が可能である黒點や白紋の諸現象中には、日蝕よりも重要視しなければならない問題が少くないのである。課員は、徒らに新奇を追はず、着實に宇宙の現象を研究して貰ひたい。

(四月分) この月は天氣が悪くて、観測者は可なり苦んでゐられるが、東京では、比較的に好天氣に恵まれたやうである。黒點は一體に小さいが、それでも肉眼に見える程度のものが時々現はれて、観測者を喜ばせてゐる。

“缺測” M といふものを成るべく少なくして貰ひたい。言ふまでもないことであるが、“缺測”とは、天氣には申しぶんが無い場合で、観測者の都合さへ好ければ可能であつたのだが、要務とか何とかで、都合が付きかねたといふことを意味する。ところが、多くの観測者の報告中には、缺測の意味が明瞭でないのがあり、甚だしいのは、天氣が悪いのか、観測者の都合が悪いのか、明らかでないのがある。只、木邊氏だけは、缺測の意味を明瞭に報告して居られるので、敬服する。要するに、観測者の良心の問題である。學術の研究と、人間の道徳とは全く無關係であるかの如く考へてゐる人々が(特に自由主義の人々の中に)多いやうであるが、それは以つての外のことである。道義心の健固な人でなければ信用ある研究や観測は行はれない。天體観測はすべて監督者の眼前で行はれるものでないのだから常に良心の強い人のみが眞に信用ある報告をするのである。こんなことは書物に書いてない常識である。(1943-5-10, 山本)

注意：太陽課諸報告は、當分の間、田上天文臺(滋賀縣栗太郡上田上村)氣附にて送られたし。

訂正：天界第262號第143頁、観測者名の中、吉田昭三とあるは吉野昭三の誤。

太陽黑點相對數報告 (1943年三月) Sun-Spot Relative Nos., March, 1943.

觀測者 Obs. (觀測地)	津留 繁雄 (熊本市)	坂上 務 (福岡市)	西山 峰雄 (福岡市)	秋澤 昭二 (高知市)	恒岡 美和 (姫路市)	青木 章 (大阪市)	植田 耕作 (大阪市)	西尾 利夫 (大阪市)	吉野 昭三 (大阪市)	正田 源一 (大阪市)	木邊 成磨 (中里村)	竹内 潤 (名古屋)	沓掛 七二 (青木村)	赤坂 陽 (東京市)	保積 善太郎 (東京市)
	Tr	Su	MN	SA	YT	Ai	KU	No	SY	GH	Kb	Tu	Kk	AA	H _z
口徑 mm	122	42	50	32	36	75	32	105	110	38	75	32	102	55	75
倍率 ×	48	64	45	54	60	64	50	75	75	65	60	50	75	50	64
方法	P	P	D	P	D	P	D	P	D	D	D			D	D
1	35	M	C	C	R	R	R	R		R	R		C		20
2	25	M	M	16	C	C	C	M		18	17		C		C
3	15	M	M	24	0	C	C	14		13	C		17		13
4	11	M	0	11	M	C	C	0		0	0		11		0
5	14	M	R	C	C	C	48	M		14	M		M		15
6	C	M	0	M	16	C	C	0		18	M	0	22		21
7	C	M	22	28	18	26	58	M		M	M		28		23
8	36	M	29	15	19	27	C	M	50	25	M		M	40	26
9	20	M	22	16	28	31	34	20	50	25	M		C	34	
10	28	M	M	14	19	32	34	23	50	M	22		C	32	27
11	30	30	29	18	15	23	34	22	50	24	26		44	28	67
12	C	26	33	15	14	C	C	20		(17)	26		48	29	69
13	30	24	23	16	15	M	46	M		22	30		44	38	50
14	20	19	19	13	14	C	C	M		19	19	20	C	27	28
15	16	25	28	C	11	M	M	11		23	12	17	16	11	30
16	11	23	13	18	11	13	M	0		11	11	14	13	11	13
17	0	M	0	12	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
18	11	11	11	11	0	12	M	13		11	11	0	13	0	11
19	11	C	11	R	0	C	C	C		C	M			11	11
20	C	M	23	13	C	R	R	R		R	23			R	R
21	37	M	25	12	11	C	M	M		26	22	14	病	C	C
22	R	M	R	R	R	R	R			R	R			35	15
23	28	M	24	28	23	28	33			24	24	33		34	19
24	R	M	26	C	C	C	R			C	M			R	R
25	33	M	29	29	28	C	29			30	31	40	氣	27	26
26	31	M	29	27	26	31	26			28	32	38		26	25
27	R	M	R	R	13	C	C			C	C			26	15
28	R	M	C	14	C	R	R			R	R			R	R
29	23	M	11	12	M	12	13			M	25	14	23	11	12
30	R	M	C	R	R	R	R			R	S		C	M	27
31	C	M	M	C	R	R	R			R	R		C	C	C
平均 Mean	22		21	17	14	21	30	11		18	19	17	23	24	24
日數 Days	21	7	16	21	20	11	12	11	5	19	17	11	12	18	24

太陽黑點相對數報告 (1943年四月) Sun-Spot Relative Nos., April, 1943.

觀測者 Obs. (觀測地)	西山 峰雄 (福岡市)	坂上 務 (福岡市)	秋澤昭二 郎 (高知市)	恒岡 美和 (姫路市)	青木 章 (大阪市)	正田 源一 (大阪市)	植田 耕作 (大阪市)	吉野 昭三 (大阪市)	竹内 潤 (名古屋)	沓掛 七二 (長野縣)	保積善太郎 (東京市)	赤坂 陽 (東京市)	木邊 成麿 (滋賀縣)
口徑 mm	32	42	32	36		38	32	150	32	102	75	55	75
倍率 ×	45	64	54	60	64	65	50	75	50	75	64	50	60
方法	D	P	P	D	P	D	D		D		D	D	D
1	29	C	16	M	C	29	C	47		C	29	35	33
2	24	C	28	24	28	25	38		35	24	24	34	M
3	R	R	C	C	C	C	C			C	25	35	R
4	R	R	R	R	R	R	24			C	C	C	C
5	26	M	23	12	R	23			13	C	28	23	24
6	R	C	R	C	C	24	C	C	13	C	31	22	22
7	R	R	24	C	C	12	C	C		C	R	R	13
8	14	R	13	12	R	R	R	R		R	R	R	11
9	24	C	13	12	M	M	25	C	14	C	24	11	11
10	23	C	23	C	M	M	M	34	14	26	30	28	C
11	R	R	R	R	C	C	R	34		R	C	C	26
12	30	26	13	17	C	C	24	36	26	C	26	C	R
13	15	23	14	C	21	19	24	28	22	C	22	24	M
14	M	C	14	12	M	16	M	23	20	15	23	24	22
15	26	17	12	C	18	M	22	28	20	C	28	M	18
16	31	34	23	12	27	M	C		19	28	36	24	25
17	32	35	26	26	30	28	M	40	20	30	35	26	25
18	R	R	R	C	29	29	31		43	C	38	25	28
19	39	38	27	39	R	R	R			R	R	R	R
20	45	40	27	C	34	M	26	31	40	C	49	32	37
21	34	36	29	33	M	34	27	43	30	C	33	17	45
22	29	29	18	21	29	30	30	49	30	38	31	19	35
23	M	26	21	21	27	M	30		33	44	29	13	35
24	26	C	16	20	30	28	30	62		42	33	13	28
25	29	M	C	21	26	28	25			M	33	16	24
26	15	27	12	15	24	16	26	35		21	25	15	23
27	11	29	C	0	C	C	0	17	0	C	C	0	M
28	C	R	C	C	11	C	0	C	0	C	11	11	22
29	11	23	37	M	11	11	11	13		11	11	11	11
30	M	12	22	11	11	11	11	15	14	11	11	11	11
平均 Mean	26	29	21	18	30	23	22	33	21	26	28	20	24
日數 Days	20	14	22	17	15	16	18	16	19	11	24	23	22